

(その2)

特定工程に係る工事監理における確認報告書

工事監理における確認状況の報告 (木造枠組壁工法編)

告示第56号の適用		第1～第8適用	第9第1号適用	第9第2号適用	第9第3号適用				
事項	確認を行った部位、材料の種類等	照 合 内 容			照 合 方 法			照 合 結 果	備 考
		A	B	C	A	B	C		
支持地盤の種類・地耐力	地 盤	1 支持地盤の確認 確認方法(目視 サウンディング等 載荷試験)						適・不適	
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料(接合材料を含む)の種類、品質、形状及び寸法並びにそれら材料の接合状況、接合部分の形状等	基 礎	2 基礎は鉄筋コンクリート造か。 3 基礎に耐力上問題となる不良箇所がないか。 4 床下換気口、又はこれに替わるものが適正に設置されているか。 5 布基礎の幅は120以上か、地面から基礎の天端の寸法は300以上か。						適・不適 適・不適 適・不適 適・不適	
	土 台	6 土台の寸法は枠組壁工法構造製材規格(以下「規格」という)に適合するか。 (204、206、208、404、406、408) 7 アンカーボルトは適正に配置されているか。(間隔2m以下、隅角部、土台の継手部) 8 アンカーボルトは直径12以上、長さ350以上か。						適・不適 適・不適 適・不適	
	床 組	9 床根太、端根太及び側根太の寸法は規格に適合するか。(206、208、210、212) 10 床根太の支点間距離は8m以下か、又212の場合3m以下ごとに転び止めを設けているか。 11 床根太間隔は650以下か。 12 床に設ける開口部は床根太と同寸法以上で補強されているか。 13 床材の厚さ、材質は適正か。 14 床の枠組と床材の緊結は適正か。 15 床の枠組と土台又は頭つなぎとの緊結は適正か。 16 床根太、天井根太その他の横架材の中央部付近下側に耐力上支障となる欠込みはないか。						適・不適 適・その他() 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適	
	耐力壁	17 耐力壁の位置、つりあいは適正か。 18 耐力壁の下枠、たて枠及び上枠の寸法は規格に適合するか。 (204、206、208、404、406、408) 19 たて枠相互の間隔は適正か。 20 耐力壁線相互の距離は1.2m以下かつ耐力壁線で囲まれた面積は4.0㎡以下か。 21 外壁の耐力壁線相互の交差部に900以上の耐力壁があるか。 22 耐力壁隅角部、交差部は相互に緊結された3本以上のたて枠があるか。 23 屋外に面する部分で隅角部又は開口部の両端のたて枠は直下の床組に金物等有効に緊結されているか。 24 耐力壁の上部には上枠と同寸法の頭つなぎが設けられているか。 25 耐力壁線の開口部の幅は4m以下か、合計は耐力壁線長さの3/4以下か。 26 幅900以上の開口部はまぐさが設けられているか。 27 筋かいに欠込みはないか。 28 壁の各部材相互及び壁と床、頭つなぎ又はまぐさ受けとの緊結は適正か。 29 壁の枠組と壁材との緊結は適正か。						適・不適 適・不適 適・不適 適・その他() 適・その他() 適・不適 適・不適 適・その他() 適・不適 適・不適 適・不適	
	小屋組	30 たるき及び天井根太の寸法は規格に適合するか。(204、206、208、210、212) 31 たるき相互の間隔は650以下か。 32 たるき及び小屋組にはたるきつなぎ、振れ止めが設けられているか。 33 たるき、トラスは頭つなぎ及び上枠に金物で有効に緊結されているか。						適・不適 適・不適 適・不適 適・不適	
	その他	上記並びにその他設計図書に指定されているものと変更はないか。						変更無し 変更有り	

[照合方法 A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認]

工事現場での表示	確認表示板	表示の有無について				適・不適
敷地の形状、高さ、衛生及び安全	接道の長さ 道路後退 高低差	2m ()m 後退(有・無)*有の場合(後退済・後退未完) 変更(有・無)				適・不適 適・不適 適・不適
建築物の各部分の位置、形状及び大きさ	建物配置 壁面後退 建物高さ	変更(有・無) 地区計画(有・無) 高度地区(有・無) 絶対高さ 道路斜線 隣地斜線 北側斜線				適・不適 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適
構造耐力上主要な部分の防錆、防蟻措置及び状況	地上1m以内の部分	防錆、防蟻処理してあるか。				適・不適
天井及び壁の室内に面する部分に係る仕上げの材料の種類及び厚さ						
開口部に設ける建具の種類及び大きさ						
建築設備に用いる材料の種類並びにその照会した内容、構造及び施工状況(区画貫通部の処理状況を含む)						
照会を行った設計図書	申請図面 構造計算書 公庫仕様書 その他の図書()					
設計図書の内容について設計者に確認した事項						
建築主に対して行った報告の内容						
備考						

【記入上の注意】

- 1 「照会内容」欄に該当しない項目がある場合は、=線で消してください。
- 2 「照会結果」欄が「その他」となる場合は、その仕様、寸法等を()内に記入してください。
- 3 1階の床で照会内容9～15と異なる仕様の場合は、2階及び3階の床についてチェックしてください。
- 4 欄は、記入しないでください。